

みんなでいっしょに川づくり

あすわがわ

九頭竜川水系の
今後の河川整備に関する説明資料

足羽川流域
(概要版)

本パンフレットは、住民説明会に使用する概要版をイメージしていただくため作成しました。今後、加筆・修正等を行うことがありますのでご了承ください。

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
福井県 土木部 河川課

皆さんの声が反映される川づくりへ!

平成9年の河川法改正に伴い、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川の整備の内容を示す「河川整備計画」を策定することとなりました。

九頭竜川においては、「河川整備計画」を策定にあたり学識経験を有する者の意見を聴く場として「九頭竜川流域委員会」を設置し、これまで26回にわたり多くのご提案をいただきました。

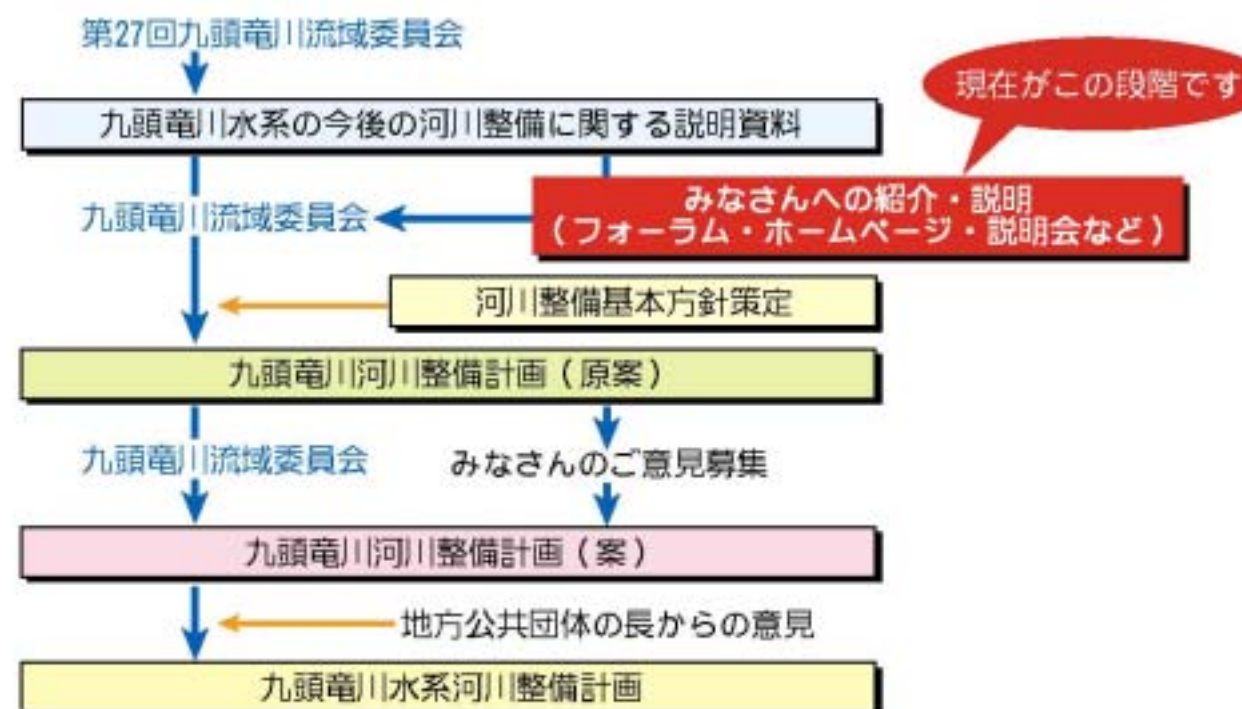
このパンフレットは、これまでの流域委員会へ提出した資料を基に、国土交通省近畿地方整備局及び福井県が「河川整備に関する説明資料」の概要としてとりまとめたものです。「説明資料」は今後、「九頭竜川水系河川整備基本方針」を作成し、「九頭竜川水系河川整備計画の原案」を作成するための基礎となるものです。

このパンフレットは、こんな構成になっています。

- 足羽川流域の特徴
- 治水事業の沿革
- 足羽川流域の現状と課題
- 川づくりに向けての具体的施策
 - 安全で安心して暮らせる川づくり
 - 環境に配慮した川づくり
 - 地域との連携・協働による川づくり

【参考】「九頭竜川流域委員会での主な説明内容」

「九頭竜川水系河川整備計画」づくりの今後の流れ



これからの川づくりの目標

- ★その1 洪水特性を踏まえて安全で安心して暮らせる河川整備の実施と危機管理施策の推進
- ★その2 水環境や歴史を踏まえた河川整備と、環境を考慮した利水・利用の推進
- ★その3 自治体や住民等との連携・協働による河川環境の把握、保全及び回復、維持管理の充実、適正な河川利用の維持

対象とする期間

対象期間はおおむね30年間としますが、社会や自然環境の変化、新たな技術の進歩などにより、対象期間内であっても見直しを行うことがあります。



九頭竜川流域委員会では、九頭竜川水系の今後の川づくりについて意見交換をしています。

九頭竜川流域委員会は、九頭竜川水系の河川整備計画の策定に向けて、計画(原案)や関係住民意見聴取の方法に意見を述べるものとして設立されたものです。

九頭竜川流域委員会は現在22名の委員より構成され、平成14年5月9日を第1回開催とし、平成17年1月までに27回開催されました。



第25回九頭竜川流域委員会
(平成16年11月18日開催)

<九頭竜川流域委員会ホームページ <http://www.fukui-moc.go.jp/ryuiki/index.html>>

足羽川流域の特徴

● 九頭竜川流域の概要

九頭竜川水系は、その源を福井、岐阜の県境油坂峠(標高717m)に発し、北西に流れ福井平野に出て日本海に注ぐ、幹川延長116km、流域面積2,930km²の一級河川です。

その流域は、東・西・南の三方を山地に囲まれ、北方に河口が開けており、福井市をはじめとする6市13町3村からなります。流域内人口は約67万人で、福井県人口の約8割を占めています。

また流域は、九頭竜川本川、日野川、足羽川の3川に区分され、九頭竜川本川流域は中央部及び東部、日野川流域は西部と南部、足羽川流域はその中間部となっています。

流域内の年間総雨量は海岸部で2,000~2,200mm、山間部で2,600~3,000mmで、全国平均でみると多雨多雪に属しています。



● 足羽川流域とは

● 上～中流部は谷底低地

足羽川流域は、越美山地、南条山地、越前中央山地に位置し、標高500~800mの谷底低地を形成しています。

足羽川は、岐阜県境の冠山に源を発し、池田町の中心部、美山町の中心部を経て、下流の福井市街地を貫流し、日野川に合流します。



足羽川(美山町役場付近)



足羽川(日野川合流点付近)

● 下流部は沖積平野

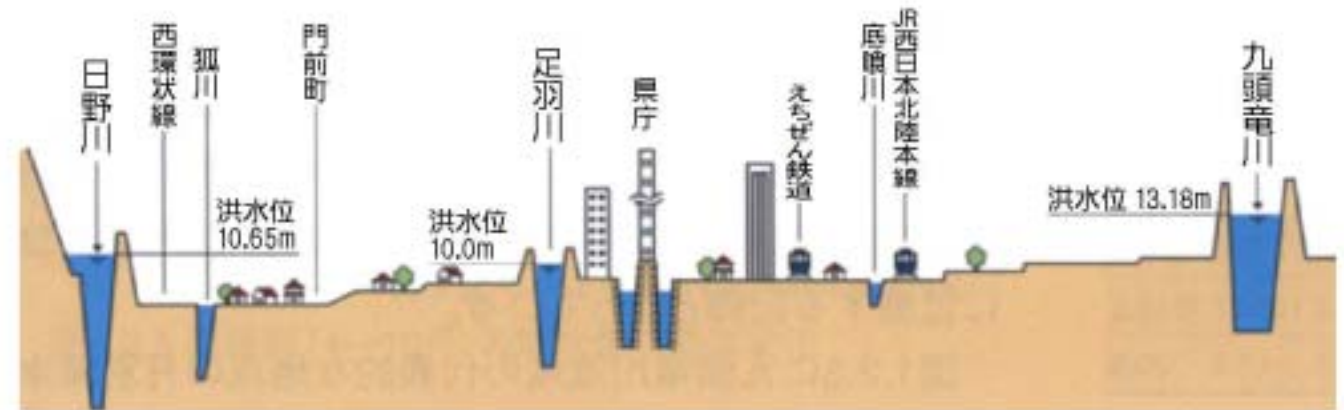
福井平野は、足羽川、九頭竜川及び日野川などの下流に発達する低平な沖積平野です。

● 三川のいずれかの河川が氾濫しても福井市街地への影響は大きい

福井市街地は、三川(九頭竜川・日野川・足羽川)に囲まれた地域に人口及び資産が集中しています。



● 洪水時の足羽川の水位は福井市街地より高く、いったん破堤すると甚大な被害に見舞われます



足羽川流域の支川

足羽川流域は、福井市と松岡町の一部ならびに美山町、池田町の全域から構成されています。

流域面積は、約416km²(県土面積の約10%、九頭竜川水系(福井県)の約14%)です。

また、足羽川流域は、足羽川本川の直轄管理区間17.4km、及び指定区間の18河川(足羽川、荒川、一乗谷川、羽生川、部子川、水海川、魚見川等)からなっています。



足羽川の流域面積: 416km²

足羽川流域の支川

治水事業の沿革

過去の主な洪水

- 足羽川では、過去に洪水等による被害に幾度も見舞われてきました

足羽川流域では、戦後昭和28年9月の台風13号、同34年8月の台風7号、同36年9月の第二室戸台風、同39年7月の梅雨前線、同40年9月の奥越豪雨、同47年7月の梅雨前線による洪水等により、特に大きな被害を受けました。



足羽川流域(福井駅前付近)
昭和34年8月12日 出水



足羽川流域(福井市成願寺町 鹿沙門橋)
昭和39年7月7日 出水



荒川流域
(福井市日之出四丁目付近)
昭和47年7月9日 出水

これまでの河川改修の経緯

- 安全で安心した暮らしを確保するため、これまで河川改修を進めてきました

足羽川は、昭和38年に旧足羽川の埋め立てが竣工し、放水路工事が完成しました。次に、昭和49年より1次改修が行われ、低水路の拡幅を行ってきました。この改修事業は昭和58年に完了し、残事業は日野川の改修にあわせて河床部分の掘削を行います。

現在は、河床掘削に備えて10橋のうち6橋(うち5橋は根固め未施工)が完成しています。また、残る4橋のうちJR橋と幸橋は、工事中です。



平成16年7月 福井豪雨

- 平成16年7月18日に発生した福井豪雨では、福井市内をはじめ、上流の池田町や美山町などにて甚大な被害に見舞われました

福井市内では破堤・内水により、中心市街地で多数の家屋が床上・床下浸水するなどの被害が発生しました。



足羽川流域(福井市春日付近:破堤)



足羽川流域(福井市木田付近)



上流部の美山町でも洪水氾濫による被害が生じた他、JR越美北線は橋梁等の流失により寸断されました。また、道路の冠水・流出、土砂の流出により集落が孤立するなどの被害が発生しました。

◀ 足羽川流域(美山町朝谷島付近)



土石流や河岸崩壊により、大量の巨木が根こそぎ倒され流されました。巨木は橋梁に引っかかり、落橋や堰上げ氾濫を引き起こし、農地、家屋の被害を増大させました。

橋にせき止められた流木(部子川金見谷川合流点)▶



一乗谷川などの支川においても、土石流を伴う出水により、多数の家屋が損壊、浸水しました。

◀ 一乗谷川流域(福井市浄教寺付近)



荒川では、福井市内において越水や内水により、多数の家屋が浸水しました。

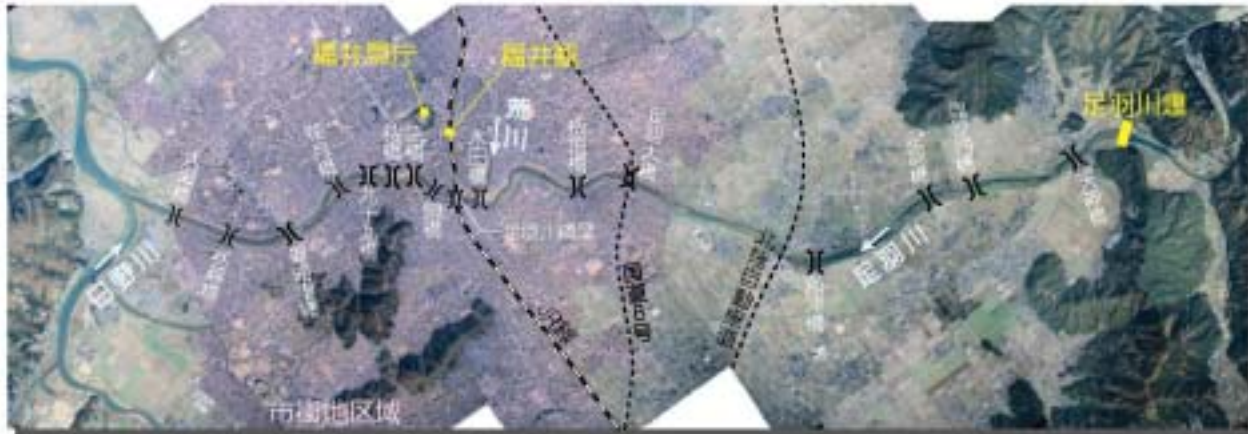
荒川流域(福井市成和付近)▶

足羽川流域の現状と課題

治水の現状と課題

- 足羽川の主に福井市街地の区間では、洪水を流下させる川の能力が低い区間が存在します

国道8号の足羽大橋付近から上流の天神橋付近までは、比較的川幅が広く洪水を流下させる能力がありますが、下流の福井市街地区間は、川幅が狭い上に蛇行が著しく、砂州や樹木、橋梁により洪水が流下しにくくなっています。



足羽川(日野川合流点～足羽川堰)

- 足羽川の市街地の一部区間の堤防は、特殊な構造になっています

堤防や護岸、排水機場等の河川管理施設については、洪水時に正常な機能が発揮できるよう、常に良好な状態に保っておく必要があります。

また、堤防上の桜並木は植樹してから50年以上が経過しており、枯死した場合には根腐れによる堤防の弱体化や、台風による倒木の恐れがあるため、堤防の質を維持するためのきめ細かな管理が必要です。



足羽川 特殊堤
(福井市中央)



台風による桜並木の倒木
(福井市毛矢)

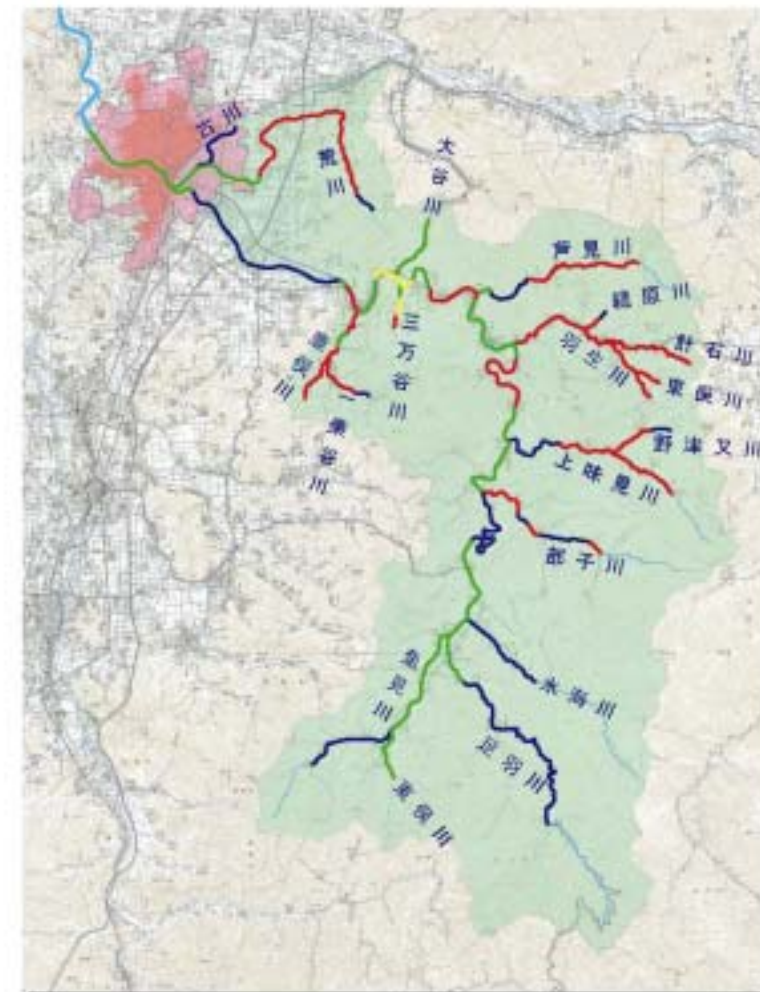
- 河道内の固定化した砂州に樹木が繁茂している区間があり、洪水流下の阻害となっている恐れがあります

河道内の樹木は、鳥類の生息域になっており、魚類においても木陰等が良好な生息場所となっています。しかし、その反面、洪水流下の阻害になるといった問題点もあります。



足羽川の河道内樹木▶

- 流域内の河川のほとんどが、30年に1回程度の降雨による洪水に対応できない状態です



- 5年未満
- 5年以上 10年未満
- 10年以上 30年未満
- 30年以上
- 主要道路および鉄道等の交通機関
- 人口集中地区(昭和45年)
- 人口集中地区(平成12年)

足羽川ブロックの治水安全度(現在)

足羽川流域の現状と課題

環境・利水(利用)の現状と課題

- 足羽川の水は、かんがい用水や発電用水として広く利用されていますが、近年十分な取水ができなくなったり、下流区間では瀬切れが起こったりしています

足羽川では、かんがい用水として足羽川堰で取水が行われています。足羽川堰で取水したかんがい用水は、福井市の約2,100haの耕地のかんがいに利用されています。

近年、十分な取水ができなくなったり、下流区間で瀬切れが起こったりしています。また、将来の傾向を予想すると、ますます瀬切れの頻度が高くなる恐れがあります。



▲ 毘沙門橋から上流を望む(平成6年8月4日)



▲ 足羽川堰

◀ かんがい用水の利用

● 河川横断工作物により魚が移動しにくい箇所が存在します

足羽川には、魚類が移動可能なよう堰に魚道が設置されたものもありますが、その機能が十分発揮されていないものも見られます。



足羽川 河川横断工作物 (福井市稲津町) ▶

● 河川空間の利用

JR北陸本線足羽川橋梁より下流区間の高水敷には公園が整備され、堤防上に植えられた桜並木とともに桜の名所として市民に親しまれており、市民の憩いの場となっています。

今後とも都市内の貴重なオープンスペースとして保全していく必要があります。



▲ 足羽川 河川敷公園(福井市つくも)



▲ 一乗谷朝倉氏遺跡(福井市)

一乗谷川は、一乗谷朝倉氏遺跡と調和した景観を呈しており、平成3年に国の特別名勝に指定されました。

当地は、観光客の休憩場所等に利用され、川と歴史の関わりが深い場となっています。

水海川は、毎年2月15日早朝、田楽能舞(国指定無形文化財)の演技者が身を清める儀式を行う場として利用されています。

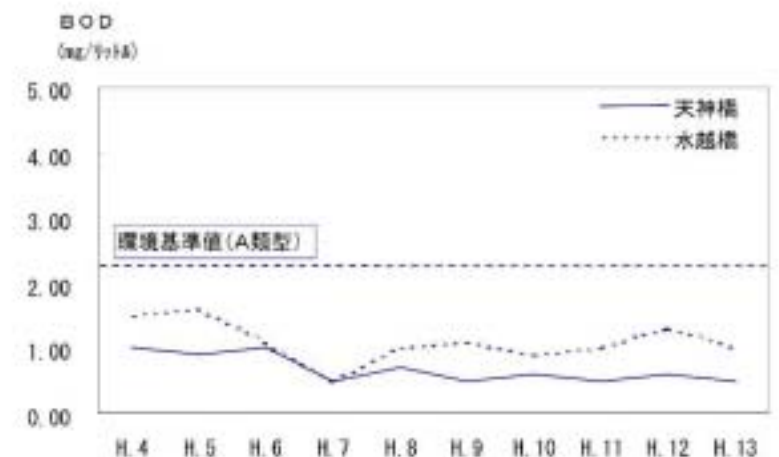
水海川 みそぎの儀式(池田町水海)▶



足羽川の水質(BOD75%)は、天神橋地点では概ね1.0mg/リットル以下を維持、下流の水越橋地点では1.0~1.5mg/リットルを推移しており、どちらも環境基準値を満足しています。

足羽川流域の下水道整備普及率(平成13年3月現在)は、福井市で約70%、松岡町で約80%、美山町で約55%、池田町で約55%となっています。

これら下水道の整備が、河川の良好な水質保持に寄与しているものと考えられます。



足羽川の水質(BOD 75%値)の推移

安全で安心して暮らせる川づくり

整備の目標 及び内容

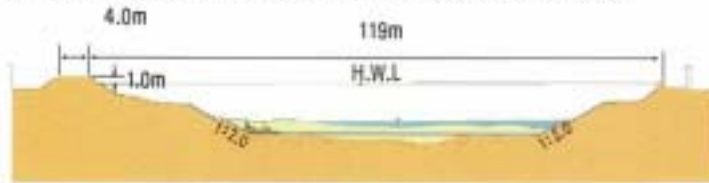
九頭竜川水系主要河川 【足羽川本川下流(天神橋より下流部)】
九頭竜川水系主要河川 【足羽川本川上流(天神橋より上流部)】
足羽川に流入する支川

戦後最大降雨が過去の主要洪水で降った場合や過去の実績洪水(平成16年7月福井豪雨を含む)でも安全で安心して暮らせるよう、河道の整備及び上流域にダムの新設を行います
現状で5~30年程度の治水安全度を概ね50年に向上させるため、河道の整備等を行います
足羽川本川との整合に配慮しつつ、現状で5年~10年程度の治水安全度を、概ね10~30年に向上させるため、河道の整備等を行います

①福井市中心部(福井市大瀬町地先~板垣地先:約6,000m区間)

平成16年7月の福井豪雨による洪水を安全に流下させ、福井市の中心市街地の浸水を防止します

川底を掘り下げ(河床掘削)、洪水を流下させるよう川的能力を向上させます。なお、工事等は、福井豪雨により「河川激甚災害対策特別緊急事業」に指定されたため、平成16年度~平成20年度で実施していきます。



日野川合流点から3.6km付近



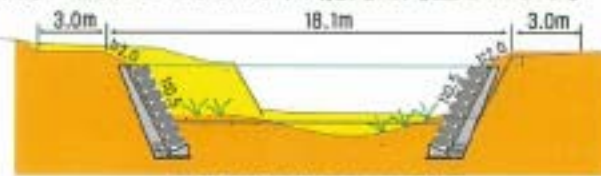
足羽川下流部の整備イメージ

【福井市中心部でのその他の対策】
堤防の強化、護岸の整備、橋梁の改築・補強等の対策を講じます。なお、工事等は、福井豪雨により「河川激甚災害対策特別緊急事業」に指定されたため、平成16年度~平成20年度で実施していきます。

②一乗谷川(福井市安波賀地先~福井市城戸ノ内町地先:約900m区間、福井市西新町地先~福井市浄教寺地先:約2,300m区間)

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設、国道等の浸水を防止します

河道の拡幅(低水路拡幅)及び川底を掘り下げる(河床掘削)ことにより、洪水を流下させるよう川的能力を向上させます。

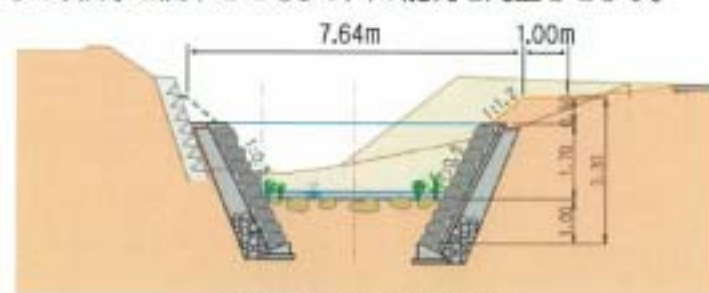


足羽川合流点から1.0km付近

③三万谷川(国道158号線バイパス直上流~美山町三万谷地先:約1,200m区間)

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設、国道等の浸水を防止します

河道の拡幅(低水路拡幅)及び川底を掘り下げる(河床掘削)ことにより、洪水を流下させるよう川的能力を向上させます。



足羽川合流点から1.4km付近



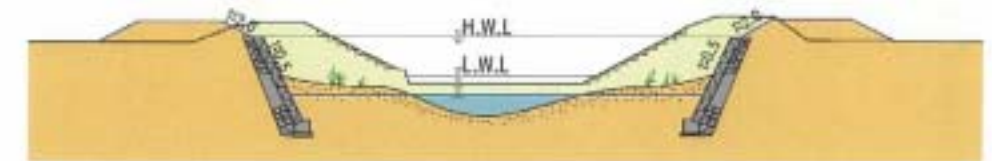
凡例

—	河川整備の対象河川
—	計画的に河川工事を実施する区間
—	計画的に河川工事を実施するダム
—	取水施設・導水路
—	既設可動堰
●	既設ポンプ

④荒川(福井市東泉町地先~松岡町吉野地先:約5,400m区間)

概ね30年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設、国道等の浸水を防止します

河道の拡幅(低水路拡幅)及び川底を掘り下げる(河床掘削)ことにより、洪水を流下させるよう川的能力を向上させます。さらに、福井市の重立町地先と今泉町地先に遊水地を建設し、遊水地下流への洪水量を低減させます。

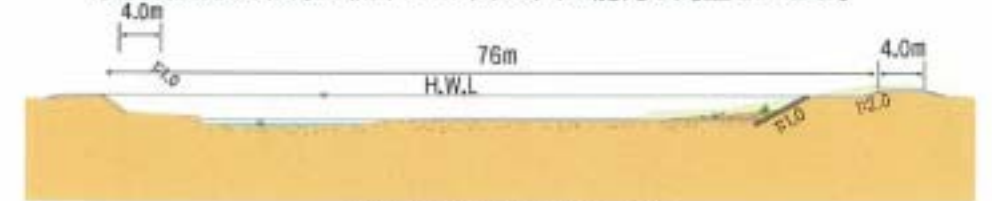


足羽川合流点から7.2km付近

⑤足羽川(福井市前波地先~美山町小宇坂島地先:約15,900m区間)

概ね30年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設、国道等の浸水を防止します

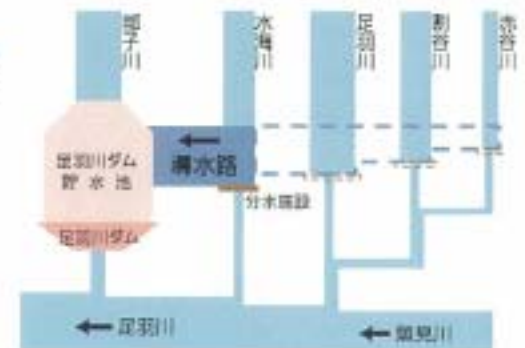
河道を拡幅し、洪水を流下させるよう川的能力を向上させます。



日野川合流点から18.4km付近

⑥足羽川ダム

足羽川の支川である部子川に足羽川ダムを建設し、ダムで洪水調節を行うことにより、ダムから下流への洪水量を低減させます。



環境に配慮した川づくり

● 動植物との共生をめざした川づくりをすすめます

- ・魚類の移動状況を調査し、改善が必要な施設については魚道の設置・改築等を行います。
- ・河道内の樹木等については、繁茂状況を把握するとともに、洪水流下の阻害となる場合には、鳥類をはじめとした動物など周辺の河川環境への影響を十分に考慮したうえで、伐採、除草、保全等の維持管理を行います。



足羽川(福井市大瀬町)

● 名所となる桜並木の保全に配慮した堤防強化を検討します

- ・足羽川の堤防上の桜並木については、名所としての保全に配慮した堤防強化を検討し、整備していきます。

● 日常的に流量の調査・水質の管理を実施し、皆さんに情報を提供します

- ・流量観測等により日常的な水量を把握するとともに、必要に応じて地域へ情報を提供します。
- ・「九頭竜川水系河川水質汚濁防止連絡協議会」等において、水質に関する情報を収集するとともに、啓発活動や広報活動に取り組みます。
- ・水質事故等に対しては、事故原因等の情報を把握したうえで、関係機関と協力して、被害の拡大防止、事故原因者のもとで速やかな処理を指導します。

● 日頃から水を使う人たちと話し合う場をつくり、渇水被害の軽減・瀬切れの解消に努めます

- ・渇水に対しては、水利使用者との情報交換や意見交換を行うとともに、渇水時の関係機関への情報提供や収集を行います。
- ・河川の流量が減少し問題となっている区間においては、流況を改善するため利水者と調整を行います。

● 誰もが利用できる川づくりをしています

- ・河川の利用(河川とのふれあい・体験学習の場等)については、ニーズを把握して自然との共生および地域の歴史・文化の尊重を前提とした整備を行います。
- ・地域住民の河川愛護精神を啓発するとともに、河川内の不法投棄を減らすための河川巡視を行い、必要に応じゴミ投棄防止に関する看板の設置等を行います。
- ・新たな占用工作物の設置については河川環境に配慮するよう指導し、老朽化の激しい占用工作物の修繕についても必要に応じて施設管理者に指導をしています。

地域との連携・協働による川づくり

● 水防団等と連携して河川管理施設や資材の点検を行い、安全を確保します

- ・水防資材や河川施設の巡視を行うとともに、機能低下したのものについては、局部的な改良、復旧・修繕、機器の更新を行います。また、堤防については、調査・点検を行い、必要な箇所は堤防強化策を実施します。

● 許可工作物の占有者に対して十分な指導をしています

- ・橋梁や樋門等の許可工作物については、出水時に治水上重大な影響が出ないように、新設・改築の際に占有者に対して十分な指導を行います。

● 防災機能の充実と地域住民の防災意識の向上に努めます

- ・防災活動の初期からの的確かつ迅速な対応が可能なように、関係機関の有する雨量・水位情報を集積する「河川総合情報システム」を構築するなど、防災機能を充実させます。
- ・防災情報の提供等を行うとともに、水防団等との情報交換、水防体制の維持・強化を図ります。洪水時は「河川総合情報システム」により、流域内の雨量や河川水位等の河川情報を収集するとともに、地域住民へインターネット等で防災情報を提供します。



荒川 河増水位観測所(福井市河増) ▶

● 市や地域住民と連携して、洪水予報やハザードマップ作成を支援します

- ・洪水予報を行うとともに、浸水想定区域等の情報提供により、福井市や地域住民と連携したハザードマップ作成を支援します。

● 地域住民と協働してより良い川づくりを進めています

- ・住民参加による河川美化活動など、地域住民と協働して良好な河川環境の保全に努めるとともに、体験型環境教育を通し、子供たちの河川愛護精神の啓発に取り組みます。
- ・地域住民と密接な関わりがある河川については、住民とともに計画の検討、実施、見直しを行う等、協働して川づくりを進めています。



芦見川 河川生物調査(美山町内) ▶

【参考】「九頭竜川流域委員会での主な説明内容」

ここでは、参考として九頭竜川流域委員会で審議された論点の整理として、「足羽川ダムの治水対策(案)」、「福井豪雨に対する足羽川ダム計画の効果」、「常時”水を貯めるダム”と”水を貯めないダム”の違い」について紹介します。

足羽川での治水対策(案)の検討について

足羽川では、福井市街地で流すことが可能な流量が現状で $1,200\text{m}^3/\text{s}$ ~ $1,300\text{m}^3/\text{s}$ であるため、過去より $1,800\text{m}^3/\text{s}$ の流量が安全に流下できるように低水路拡幅や河床掘削等の河川改修工事を実施してきました。しかしながら、福井豪雨では天神橋観測地点での流量が約 $2,400\text{m}^3/\text{s}$ に達し、不足分についての対策が必要となりました。

そこで、九頭竜川流域委員会では治水対策(案)として考える複数の案を基に、それら単独、あるいは組み合わせにより、「地域社会への影響」、「環境への影響」、「事業実施の難易度」、「事業費」などを総合的に勘案した上で、最も実現可能な対策について審議してきました。

特に議論となった焦点は、「洪水を流下させる川の能力が低い福井市中心部の足羽川の対策をどうするか」にあり、これには多くの時間を費やしました。

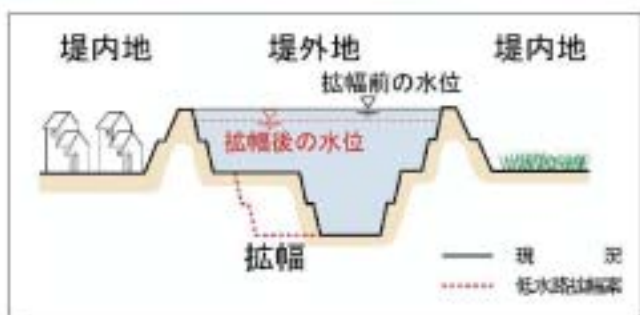
考える複数の治水対策(案)

九頭竜川流域委員会で審議された複数の治水対策(案)のうち、いくつかを紹介します。

河道内で処理する方法

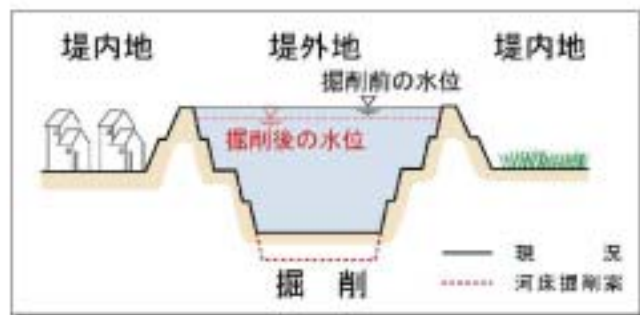
低水路拡幅(案)

足羽川の高水敷は市民の憩いの場として親しまれています。また、市街地区間の高水敷幅は、九頭竜川や日野川と比べ非常に狭く拡幅は困難です。



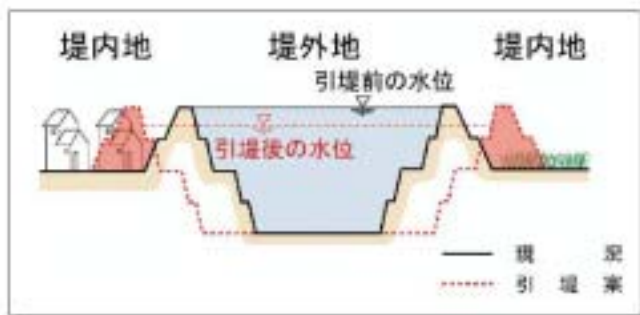
河床掘削(案)

現計画に基づき、川底を2m掘り下げる事業を現在実施中ですが、福井豪雨による洪水を安全に流下させることはできません。これには、さらに足羽川下流部及び日野川を含む下流河川の河床掘削が必要で、掘削残土の処理や低水護岸・橋梁の改築を伴います。また、流量増大に対する堤防等の構造上の対応が必要となります。



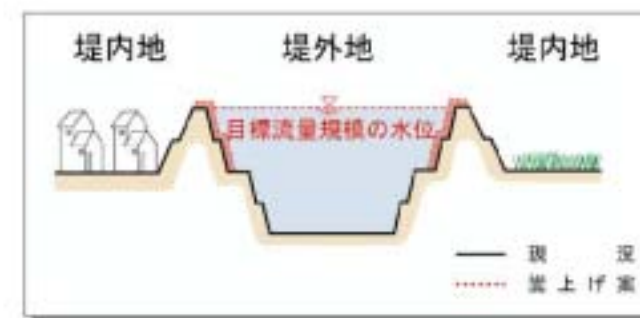
引堤(案)

日野川合流点から上流の区間において引堤が必要で、これに伴い、掘削残土の処理や橋梁の架け替え、さらに数百戸の家屋移転が必要となり、都市機能に多大な影響を及ぼします。



堤防高上げ(案)

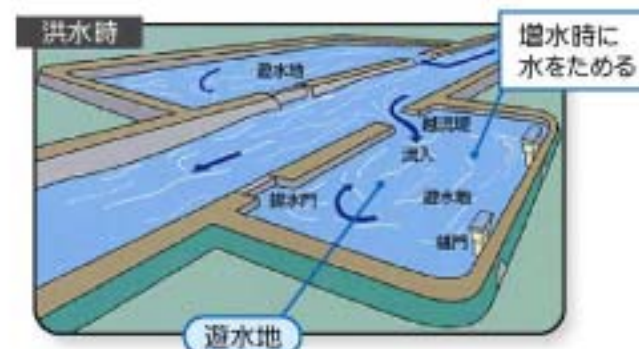
日野川合流点から上流区間の両岸にわたって堤防の高上げを行う必要があります。これに伴い、堤防の盛土、橋梁の架け替えが必要となります。また、洪水時の水位を上げるとは内水氾濫を助長し、氾濫時の被害が大きくなることが予想されます。



河道外で処理する方法

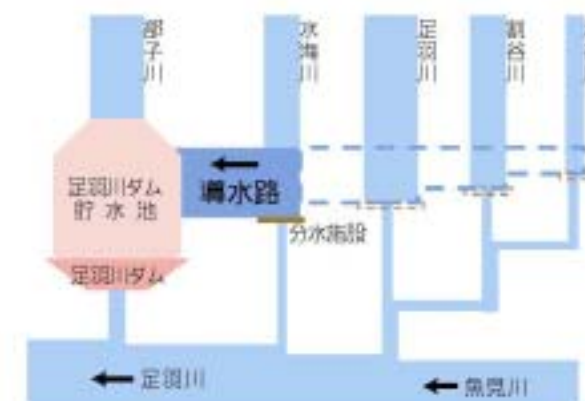
遊水地(案)

河川水が増加した時、その増水の一部を導入して下流の洪水氾濫を防ぐための池であり、まとまった平地が必要となります。足羽川では、優良な農地に新たな土地利用制限が加わる、住宅地に隣接して周囲堤が造られる、主要道路の高上げが必要となる等の社会的な影響を及ぼします。また、地権者をはじめとする地域住民への合意を図るために長期の時間を要することが予想されます。



ダム(案)

足羽川の支川である部子川に足羽川ダムを建設し、ダムで洪水調節を行うことによりダムから下流への洪水量を低減させます。山間部に建設されるため、その下流の平野部まで氾濫防止に効果があります。足羽川ダム及び水海川からの導水路の建設により家屋移転が伴います。



今後の方向性

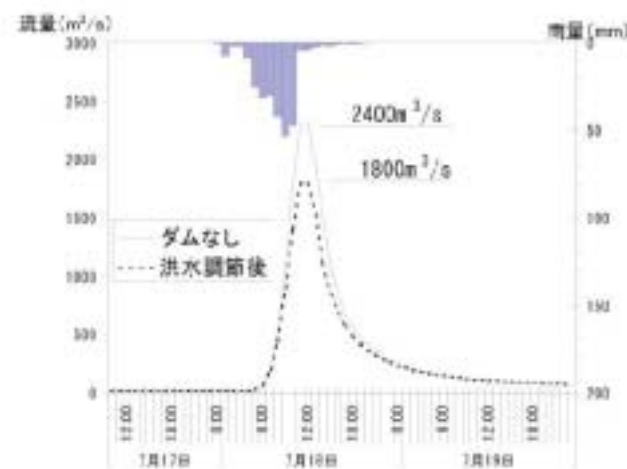
九頭竜川流域委員会では、福井市中心部を流れる足羽川の治水対策は「現在行っている $1,800\text{m}^3/\text{s}$ 対応の河床掘削」と「上流に足羽川ダムを建設する案」の組み合わせで、検討をすすめることになりました。

【参考】「九頭竜川流域委員会での主な説明内容」

福井豪雨に対する足羽川ダム計画の効果

足羽川ダムによる洪水調節

福井豪雨では、天神橋の流量が約2,400m³/sに達しました。足羽川ダム(1川導水)で、今回の洪水は、足羽川で1,800m³/sまで低減することが可能で、河道整備とあいまって安全に流すことができます。



整備メニュー完成後の効果

九頭竜川流域委員会では、九頭竜川、日野川、足羽川の河道改修と足羽川ダムとあわせて整備することとしており、その整備によれば、破堤地点での水位は約2.5m低下し、福井豪雨の洪水は安全に流せたものと予想できます。



ダム直下流区間の被害軽減効果

足羽川ダムは上流でも効果を発揮し、現在の河道のままでは足羽川ダム(1川導水)が建設された場合、浸水区域は大幅に減少していたと予想できます。

なお、残された区域は、足羽川ダムと将来の福井県の河川整備があいまって進めることで解消されます。



今後の方向性

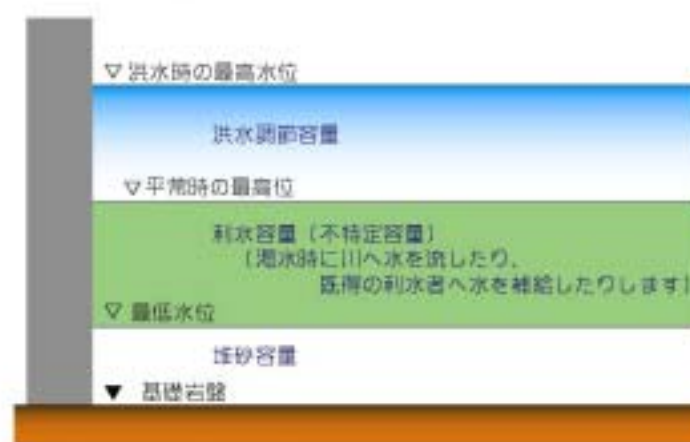
福井豪雨の実績も対象に含めた計画として、「現在行っている1,800m³/s対応の河床掘削」と「足羽川ダム建設」の組合せ案のままとすることになりました。

常時「水を貯めるダム」と「水を貯めないダム」の違いとは

渇水時に川の水を農業用水として利用でき、川に水が流れるようにするための方策として、ダムに水を貯めて、水が必要な時期にダムから補給する手段が考えられます。

「治水と利水を目的としたダム(常時水を貯めるダム)」と「治水のみを目的としたダム(常時水を貯めないダム)」とでは、水利用や環境面から、以下のような得失があります。

治水と利水を目的としたダム(常時水を貯めるダム)の特徴



「水を貯めるダム」のイメージ図

- 渇水時に動植物・景観のための水環境改善が確実に図られる。
- 渇水時における既得水利への安定供給(確実な取水が可能)。
- ダム湖の出現によるレクリエーション利用等の活用。
- 貯留による水質の変化。
- 土砂を扞止する。(土砂の移動を妨げる)
- 「治水のみを目的としたダム」(常時水を貯めないダム)に比べ、
 - ・ダム容量が大きくなる。
 - ・事業費が大きくなる。
 - ・水没面積が大きくなる。

治水のみを目的としたダム(常時水を貯めないダム)の特徴



「水を貯めないダム」のイメージ図
※洪水時のみ水を貯めます。

- 「治水・利水を目的としたダム」(常時水を貯めるダム)に比べ、
 - ・ダム容量が小さくなる。
 - ・事業費が小さくなる。
 - ・水没面積が小さくなる。
- 土砂扞止がない。(土砂の移動を妨げない)
- 維持管理が軽減される。
- 渇水時に動植物・景観のための水環境改善が図れない。
- 既得水利への改善は見込めない。

今後の方向性

常時水を貯めるダムにするかどうかについては、今後、住民のみなさまからのご意見を参考に検討をすすめていきます。

資料の閲覧はこちらからお願いします

九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明資料及び流域委員会に関する資料については、下記のホームページ及び関係機関にて公開しておりますので、ご利用下さい。

HP

下記の福井河川国道事務所のホームページで閲覧することができます。

<http://www.fukui-moc.go.jp/>



関係機関

	【住所】	【電話番号】	【閲覧場所】
近畿地方整備局河川部	大阪市中央区大手前1-5-44	06-6942-1141	7階河川計画課
福井河川国道事務所	福井市花堂2-14-7	0776-35-2661(内353)	4階調査第一課
足羽川ダム工事事務所	福井市成和1-2111 ポラリスビル	0776-27-0642(内352)	3階調査設計課
九頭竜川ダム 統合管理事務所	大野市中野29-28	0779-66-5300(内334)	2階閲覧室
福井県庁	福井市大手3-17-1	0776-20-0481	県庁9階河川課
福井土木事務所	福井市城東4-28-1	0776-24-5111(内211)	2階地域整備第二課
三国土木事務所	坂井郡三国町錦4-2-68	0776-82-1111(内251)	1階地域整備課
大野土木事務所	大野市友江11-14	0779-66-1221(内852)	1階地域整備課
勝山土木事務所	勝山市滝波町1-569	0779-88-1600(内32)	2階地域整備課
鯖江土木事務所	鯖江市西山町14-2	0778-51-2256(内35)	1階地域整備課
武生土木事務所	武生市上太田町41-1-1	0778-23-4545(内361)	1階地域整備課
今立土木事務所	今立郡今立町薬田部53-12	0778-42-2000(内51)	1階地域整備課
朝日土木事務所	丹生郡朝日町気比庄3-17	0778-34-0464(内211)	2階地域整備課



みなさんのご質問等はこちらへ

FAX

「FAX送信票」に必要事項とご質問等をご記入の上、下記宛先までご送信ください。

FAX(0776)27-1355



郵送

ハガキに必要事項とご質問等をご記入の上、下記宛先までご投函ください。

〒918-8239 福井市成和1丁目2111
国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
「足羽川の今後の川づくりに向けたご質問係」行



HP

ホームページでもご質問等を受け付けております。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>



○月○日(○)までの投函・送信をお願いします



- ◆ご質問等の受け付けは、
 - ・九頭竜川流域内市町村に在住の方
 - ・九頭竜川流域内市町村に通勤・通学の方
 を対象とさせていただきます。
- ◆いただいた情報は、河川整備以外の目的に利用することはありません。
- ◆寄せられたご質問等は、当ホームページ上もしくは流域委員会等にて公表させていただく場合がございます。ご質問等を公表する場合には、お名前、ご住所(居住地の市町村名まで)、職業(団体名等も含む)も公表させていただきます。お名前等公表に支障がある場合は、その旨をご記載ください。
- ◆なお、ご質問に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。



かずら橋(池田町)

お問い合わせ



国土交通省

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

〒918-8239 福井市成和1丁目2111番地
TEL 0776-27-0642 FAX 0776-27-1355
URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>



福井県 土木部 河川課

〒910-8580 福井市大手3丁目17番地1号
TEL 0776-20-0481 FAX 0776-20-0659
URL <http://www.pref.fukui.jp/>